

宇治田原の未来をつなぐみち

山手線の早期完成を!

『都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議』では、昨年、皆さんの熱い思いを山田京都府知事に届けることができ、今年度の京都府予算には予備設計費が計上され、国道307号以南区間（南～緑苑坂）の道路企画調査業務が実施されることとなりました。これにより未整備区間の事業が大きく前進したのではないかと思います。これもひとえに山田知事のご理解はもちろん、皆さんのご協力の賜物であると感謝申し上げます。

また、国道307号以北区間（緑苑坂～大津市）については、町事業としてネクスコ西日本が施工されます工事用道路と連携しな

がら事業を進められています。

このように京都府のご支援をいただく中で、西谷町長も将来のまちづくりには欠かすことが出来ない重要な幹線道路と位置づけておられ、我々住民会議といたしましても西谷町長と共に将来の宇治田原町のために全力で取り組んでまいりたいと思います。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



西谷町長のご挨拶

～一斉啓発活動～8月28日（金）

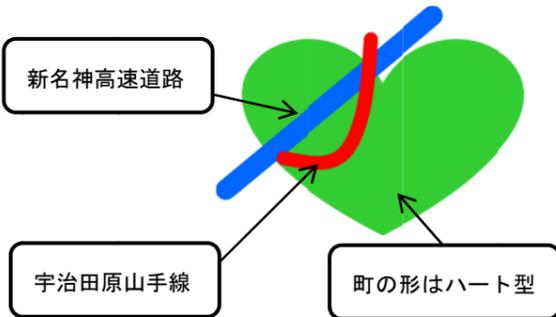
去る8月28日（金）住民や工業団地通勤者に連帯を呼びかけ気運を高めようと昨年に引き続き一斉啓発活動を行いました。

ていただける力強いお言葉もいただきました。

啓発作業としては、それぞれの持ち場に分かれ、通行者にみやすい位置として国道307号の交差点付近を中心に各公民館にもものぼり旗を立てました。今回作成したのぼり旗は、黄色をベースに赤の文字でインパクトあるデザインにし、より目立つよう、かつ、印象に残るものとしたことで通行者にアピールできると思います。

当日は、残暑厳しい中、町文化センター駐車場には約100名の有志が集まり、リニューアルしたのぼり旗・横断幕・懸垂幕の設置作業を行っていただきました。

作業の開始前にはセレモニーを行い、来賓として西谷町長をはじめ、顧問である尾形府議会議員、北川府議会議員も駆けつけていただきました。また、国会からは安藤衆議院議員、山井衆議院議員よりメッセージもいただき、未来の宇治田原町にとって山手線がいかに重要であるかを共有認識し、早期完成に向けて支援し



山手線のイメージをデザインした「ハートのまちをつなぐみち」としてシンボルマークも付けました。

みなさんに必要とされているこの「みち」は町を繋ぎ、そして未来を繋ぐ「みち」として早期完成を目指します。

横断幕・懸垂幕・のぼり旗を設置

今後も全線早期完成に向けた事業の推進のため、各種イベント時ののぼり旗を活用した啓発活動を行いながら町内の道路を利用する全ての人に対して「宇治田原山手線」の必要性を訴えていきます。



道路沿いに設置したのぼり旗



啓発活動に参加いただいたみなさん